

大分都市広域圏策定業務委託プロポーザルに係る参加事業者の公募に関する質問・回答

寄せられた質問について、次のとおり回答いたします。

NO	質問項目	質問内容	回答
1	実施要領について	プロポーザル実施要領の2参加申請手続に「本業務と同程度の実績」とありますが、同程度とは具体的には何を指すのか。	「本業務と同程度の実績」とは、産業構造や地域資源の実態等の基礎的な調査やその基礎調査結果等に基づき、分析を行ったうえで計画策定等を行った実績を提示していただきたいと考えております。 なお、本ビジョンは大分市を中心に近隣市町(7市1町)の目指すべき方向性を示すものですから、自治体を跨いだ調査・分析やそれに基づく圏域での計画の策定や、他の連携中枢都市圏のビジョンや経済戦略などの策定実績などがあればお示しください。
2	事業説明会の参加者について	新型コロナウイルスにかかる緊急事態宣言下において、福岡からの説明会参加が難しい状況であると判断される場合において、事業説明会の参加は、弊社の調査協力会社の担当者(大分市在住)が代理で参加してもよろしいでしょうか。	説明会はWEBで開催することを検討しておりますことから参加申込担当者のご出席をお願いします。 具体的な手順については、プロポーザル参加資格確認結果通知とあわせてお知らせします。
3	調査方法や分析手法等の企画に関する内容(様式第6号-2)について	資料はA3版の使用も可能とありますが、枚数の制限はあるのでしょうか。	制限は特にございません。
4	本業務に係る実施体制(様式第6号-3)について	注意事項に「総括責任者以外について記入ください。」とありますが、総括責任者については別途、記入する様式があるのでしょうか。	総括責任者については記載していただく必要はありません。
5	本業務に係る実施体制(様式第6号-3)について	注意事項に「協力団体等の職員等が担当する場合は、当該職員等についても、記入してください。」とありますが、調査協力団体や協力会社に加え、学識経験者等のアドバイザーも記載してよろしいでしょうか。	構いません。
6	提出方法について	「企画提案書は、郵送、電子メールもしくは持参により提出すること」とありますが、電子メールで提出する場合は、企画提案書のPDFデータ1部を添付にて送付することは可能でしょうか。	PDFデータで構いませんが容量が10メガを超える場合はご相談ください。 なお、プレゼン時に双方の印刷イメージを同じにするため、可能であれば紙媒体を一部頂けるとありがたいです。
7	プレゼンテーションの参加者について	プレゼンテーションの参加者(3名以内)は、弊社の調査協力会社の担当者(大分市在住)も出席してもよろしいでしょうか。	プレゼンテーションについてもWEBで開催することを検討しております。 具体的な手順については、後日お知らせします。
8	業務内容③会議の運営補助について	仕様書に提示された大分都市広域圏推進会議、大分都市広域圏ビジョン会議について、それぞれの想定開催回数及び時期についてご教示ください。	新型コロナウイルスの関係で不透明ではありますが、大分都市広域圏推進会議を2回(7月下旬、11月下旬)、大分都市広域圏ビジョン会議を2回(7月中旬、11月中旬)開催予定です。
9	大分都市広域圏政策研究チーム「未来創造塾」の調査・研究内容について	大分都市広域圏政策研究チーム「未来創造塾」では、若手職員の方を中心に調査・研究活動が行われています。令和元年10月28日には大分都市広域圏推進会議で中間報告がなされました。本プロポーザルの提案における参考資料として中間報告の内容等を閲覧することは可能でしょうか。	未来創造塾の中間報告の内容は情報提供いたします。
10			

大分都市広域圏 未来創造塾中間報告について

大分都市広域圏未来創造塾

- ◎大分都市広域圏の構成市町の若手職員による政策研究チーム「未来創造塾」を立ち上げ、圏域で抱える広域的な課題について自主的に調査・研究を行い、知恵と工夫を活かした新しい発想のもと課題解決に向けた実効性のある施策の提案を行うことを目的とする
- ◎令和元年6月に開講式を行い、大分都市広域圏推進会議会長から辞令を交付
- ◎7市1町から2名ずつ合計16名で構成され、2チームに分かれて検討
- ◎任期は令和3年3月までの2年を1期間とする
- ◎幹事長（大分市企画課長）を塾長とし、塾生に対し適宜助言
- ◎毎月1回程度研究会を実施（現在まで各チームとも5回開催）



開講式



各チームの研究会の様子

【 Team SALUD(チーム サルー) 】

大分都市広域圏 未来創造塾中間報告書

チーム名について

- ・Team SALUD(チーム サルー)
- ・“Salud(サルー)”とは、スペイン語で「健康」を意味する単語です。また転じて、お酒を飲む人の健康を祝して「乾杯」の掛け声に用いられます。物事の始まりにおこなう乾杯の掛け声が「健康」を指していること、また高峯山の嶺(サル)とも掛けて、大分の明るい未来を願ってこのチーム名を付けました。

研究テーマについて

当初、我々のチームでは、企業誘致、高齢者施策、子育て支援施策の3つのテーマについて研究していこうと考えました。しかしながら、これまでの計5回の会議で各市町の現状や事業を洗い出していく中で、あらためて各分野のボリュームが多いこと、そしてそれぞれ課題が山積していることに気付かされ、限られた時間で実効性のある事業提案へ結び付けていくためにも次の2点に絞りました。

テーマ①：企業誘致について

自治体における企業誘致と言うと、どうしても自治体間競争のようになりがちです。大分都市広域圏においては、広域都市圏として今までにない方法を探っていくのではないかと考えました。これから研究をしていくのですが、例えば、いずれかの市町に企業が拠点を置いたとして、周辺市町も通勤圏内であるため居住地域として、また休日の出掛先として設備当初より役割分担できるなど、大分都市広域圏構成市町いずれも、定住人口または交流人口のいずれかが増加して全体で発展していくような在り方を模索します。

テーマ②：子どもに関すること(子育て支援施策)について

当塾の名にも冠しております「未来」を担う子ども達に焦点を当てたいと考えました。加えて、子どもに焦点を当てることは、地域社会・地域経済を今まさに現在進行形で主に支えている現役世代を支援することにも繋がります。現在、「子育て世帯向けの情報プラットフォーム整備」や「児童虐待に対する取組み」等がチーム内で議論されましたが、子どもを取り巻く環境を、そして子育て世帯の現状をより良く出来るような事業提案を目指します。

【 LivabLABO 】

大分都市広域圏 未来創造塾中間報告書

チーム名について

livable(住みよい)+laboratory(研究所)=LivabLABO
という造語です。住民目線に立ち、より住みよい大分都市広域圏になるような政策を研究していきたい、という思いが込められています。

研究テーマについて

大分都市広域圏が抱える課題について洗い出しをし、各市町が恩恵を受けられるような政策を研究するという観点から、以下の2つにテーマを絞りました。

テーマ①：子育て・雇用

当初会議を行ったときに、班員の中から住民目線に立った政策研究を行いたい、という意見があり、それを目的に政策研究を行うことにしました。「住民が何を求めているのか？」という分析を各市町の総合計画を持ち合わせて行い、その結果、「子育て」「雇用」「交通」「防災」について多く要望が上がっていることが分かりました。交通政策については、当初から行う予定でした(テーマ②参照)。また、防災に関しては、広域圏として取り組むよりも大分県全体として考えた方が良いという意見があり外すことにしました。結果、「子育て」と「雇用」について政策研究を行う方針です。

テーマ②：交通について

当初会議でお互いの意見を出し合った際に、交通政策に興味がある班員がいたこと、JRやバスの減便、コミュニティバス事業の経費増など各市町において交通政策の問題が多く見られたため、交通政策を研究することにしました。現在は、お互いの市町村の公共交通等の事情を共有し、どういった政策が考えられるかを議論しています。